



李錫公殿下ヲ日本赤十字社名

譽社員ニ推崇ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和八年一月十九日

内閣總理大臣子爵齋藤實



陸 第 二 七 號

案 起

昭 和 八 年 一 月

日

裁 可 昭 和 八 年 一 月 十 九 日 施  
決 定 昭 和 年 月 日 行

昭 和 八 年 一 月 三 日

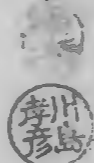
内閣總理大臣



内閣書記官



内閣書記官





李 錫 公 殿 下 三 日 本 赤 十 字 社 名 譽  
社 員 二 推 崇 ノ 件 ハ 上 裁 三 經 テ 左  
ノ 通 指 令 相 成 然 ル 一 二

指 令 案

李 錫 公 殿 下 三 日 本 赤 十 字 社 名 譽

社員ニ推崇ノ件上裁ヲ經タリ

陸 第 二 七 号

名譽社員推崇ノ件

李錫公殿下ヲ日本赤十字社名譽社員ニ推  
崇ノ旨同社長ヨリ願出候間上奏候也

昭和八年一月

陸軍大臣荒木貞夫

海軍大臣大角岑生



(美濃全葉十行野紙)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

内閣 陸 二七

陸普第一九二號

官房第三八號

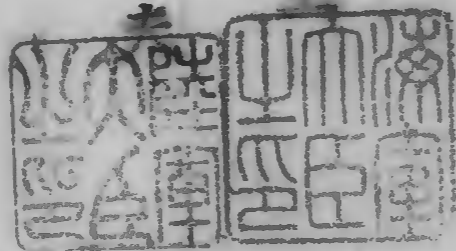
名譽社員推崇ノ件

海軍大臣 大角岑生

昭和八年壹月拾六日

陸軍大臣 荒木貞夫

内閣總理大臣子爵齋藤實殿



李鐫公殿下ヲ日本赤十字社名譽社員ニ推崇ノ件別紙上奏書及進達候也

陸軍